

マーケットの動き（2024年10月28日～11月1日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。5日に米大統領選を控え、トランプ氏がやや優勢との見方から再選した際のインフレや財政悪化などのリスクを警戒した売りが優勢でした。米雇用統計など経済指標が市場予想を下回り、買いが優勢となる場面も見られましたが一時的なものにとどまり、米大統領選を意識した債券売りにより金利は上昇しました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2024年10月）

長期金利は、米国ではさらなる低下は限定的、欧州（ドイツ）では緩やかに低下

米国：FRB（米国連邦準備制度理事会）の大幅利下げを受けて緩やかな景気減速にとどまるとの見方が広がる中、長期金利は今後の追加利下げを相当程度織り込んだとみられることから、さらなる低下の動きは限定的とみています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）による今後の利下げペースはFRBと比較して緩やかとみられますが、ドイツ景気の先行きに対する不透明感も残ることから、ドイツ長期金利は緩やかに低下するとみています。

	11月1日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.37	0.13	0.64	▲0.26	▲0.39
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	605.96	0.02%	2.93%	1.10%	10.22%

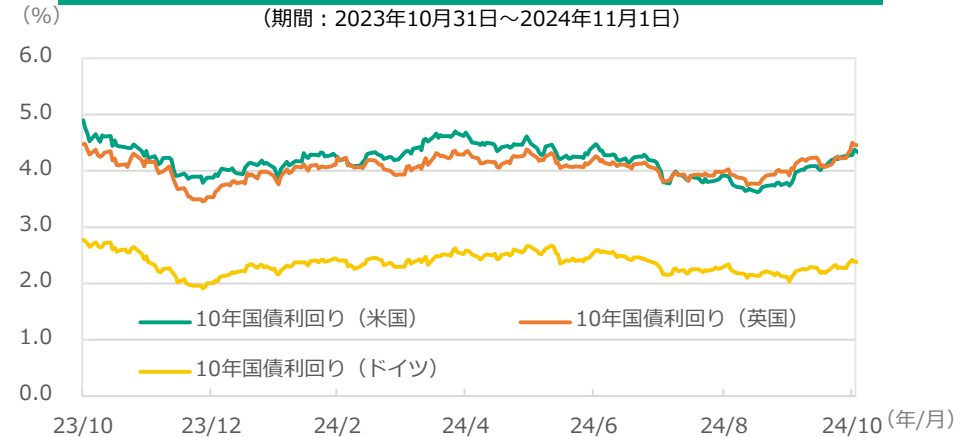
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202410_outlook.pdf

主要国国債利回りの推移

（期間：2023年10月31日～2024年11月1日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2023年10月31日～2024年11月1日）



※2023年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>